

ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

1

学年・教科 5年・国語

2

単元名 ことばの研究レポート

3

実践者（所属） 小松原和人（東小田小学校）

4

活動を始める前に

(1) 準備するもの

- プロジェクター
- 実物投影機
- コンピュータ

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- 友だちの考えを共有し、マップの書き方を知るとともに考えるヒントを獲得する。
- 正しい作文の書き方を、実物投影することにより身につける。

5

指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	・学習の目的を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で使っている言葉についての疑問や、気になっていることなどを大切に扱う。 ・グループの総意で題材を選ぶように助言する。 ・多様な連想ができそうな題材を選ぶように助言をする。 ・自分の生活の中で使っている言葉を中心にしてマップを作るよう助言する。 ・友人の発言をもとに、課題を広げたり絞ったり出来るように個々に助言する ・一人ひとりの課題を把握し、適切な調べ方を助言する。
2	・自分が持った疑問などをもとに、各自マップを作る。	
	・マップをもとに、気になっている事などを出し合う。	
3	・「季節」「ことわざ」「色」など題材を出し合い、調べたい物を決める。	
	・自分が興味のある題材をグループで選び、学習の見通しを持つ。	
4	・グループで題材について知っていることや連想したことなどを話し合う。	
	・マップをもとに、グループで話し合い、各自の課題を決める。	
5,6	・自分の調べ方を決め、調査・研究する。	
7	・レポートを書く。	
~10	・「仮名遣いのきまり」の学習をもとに、書いたレポートの推敲・校正をする。	

6

活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
2	・マップを各自で作し、交流する。	・プロジェクタで、児童が考えたマップを投影して紹介する。
4	・グループで話し合ったこと（マップ）を発表し、交流する。	・グループで作ったマップをプロジェクタで紹介する。
5	・調べたい言葉をインターネットで調べる。	・コンピュータで、調べたい言葉を入力して検索をする。

7

取り組み後の子ども達の変容や成果

自分だけの考えに自信が持てなかった子ども達が、他の子の考えを知り合うことで自信が持てたり、友だちのアイデアをヒントにしたりすることが出来た。

8

応用できます！

図書での検索の仕方・コンピュータでの検索の仕方を教える場をこの機会にとっておくとよい。